

冬期講習確認テスト講評(中1生)

●数学●

・中1選抜東大・医学部数学(1MJSS)

今回のテストでは、【1】展開【2】比例・反比例【3】角度についての問題【4】比例・反比例の応用【5】四角形に関する証明【6】座標平面総合問題を出題しました。全体としてはまずまずの出来でした。

【1】で、できなかった問題があった人は必ず解き直しをして、その原因をはっきりさせましょう。その際、単に「ケアレスミスだった」で済まさないようにしてください。背後には、公式の理解・符号の扱い・変形の仕方等についての理解不足があります。展開は今後の数学の学習のベースになるものですから、確実に答が出せるよう、曖昧な点を無くしましょう。

【2】で失点した人は「比例・反比例」ということの意味がよくわかっていない可能性が高いです。解き直しをする中で、もう一度それらの意味を復習して下さい。数学は「何をしているのか」を理解することが大切です。

【3】(1)(2)ができなかった人は円周角の定理・接弦定理の使い方を復習しましょう。(3)(4)では二等辺三角形や正三角形の性質を頭に置きながら、対象の特徴を慎重に観察することが求められていました。このような姿勢は図形を扱う問題で今後ずっと必要なものです。この点を意識して復習しましょう。

【4】は講習で扱った補充問題の類題でした。できなかった人は復習不足です。習った内容を消化不良のまま放置することがないようにして下さい。

【5】は出来が悪かったです。明らかに合同でない三角形の合同を無理やり証明しようとする答案が多かったです。根拠のない主張に意味はありません。うまくいかないときには「自分が思い込みをしているのではないか」ということを考えられるようにして下さい。このような姿勢を身につけることに数学を学ぶ一つの意味があります。

【6】も補充問題の類題でしたので完答できるはずの問題でしたが、時間配分を誤ったのか、途中答案が多かったです。選抜クラスのテストは将来の大学入試を意識して作成されています。どのように時間配分をするのかも点数を取るためには大切な要素だということを知っておきましょう。

・中1数学(1MJS)

【1】【2】の比例・反比例の問題では、問題文の条件を正確に捉えることを普段から意識しているか否かが明暗を分けたようです。また、 π の使い方を間違えている答案も目立ちました。

【3】での失点が多かった人は、文字式を扱うときのポイントとなる「変数」と「定数」の違いをもう1度確認しておきましょう。【4】【5】の証明問題では、単純な合同関係の証明はよくできていたようです。しかし、垂直の関係など、合同証明からさらに1歩踏み出す必要がある問題には手こずっている答案も多くありました。よくできていた人も、回り道をしないより簡潔な答案をめざし、引き続き学習を進めていきましょう。【6】の応用問題は座標平面上での典型的な問題でしたが、よくできていました。今後、よく目にする形式の問題なので、十分に復習しておきましょう。